

### 3. 緊急保全対策地区の選定

本章では、緊急保全対策を実施する地区選定の考え方と選定の過程について整理した。

#### 3.1. 候補地の抽出

霞ヶ浦におけるアサザ生育状況については、1994年/1996年を第1回調査として、2000年までに3回の調査が国土交通省土木研究所によって実施されていた。調査範囲は、西浦、北浦、北利根川、鰐川、外浪逆浦、常陸川である。このアサザ生育状況に関し、西廣ら（2001）による調査結果を表3.1-1に示す。

1994年/1996年と1999年の調査結果より、アサザの生育している占有面積は、No.14武井地区およびNo.18大島地区の2地区では横ばいであるものの、他の32地区では減少傾向にある。2000年には34地区のうち、わずか14地区しかアサザが確認されていない状況であった。

占有面積の規模においては、1994年/1996年には1,000m<sup>2</sup>を超える規模のアサザ群落は14地区、うち1万m<sup>2</sup>を超える群落は5地区で確認されていた。しかし、2000年になると1万m<sup>2</sup>を超える群落は確認されなくなり、1,000m<sup>2</sup>を超えるものがわずかに2地区のみであった。残存している群落の多くは、数十m<sup>2</sup>にすぎない状況となっていた。

また、開花状況を見ると開花が見られない地区が増加しており、アサザの生育状況が危機的になっていたことがわかる。

これらを踏まえ、緊急保全対策地区の候補地として、「将来的にアサザの大群落の再生の可能性が高い場所」として、「近年、アサザが確認されている34地区」を抽出した。

3. 緊急保全対策地区の選定

3.1. 候補地の抽出

表 3.1-1 アサザ生育・開花状況の比較

地区No.及び地区名		湖／河川	位置 (km)	アサザ生育状況(占有面積(m <sup>2</sup> ))			開花状況		出現
No.	地区名			1994年/ 1996年	1999年	2000年	1994年/ 1996年	2000年	2000年
1	境島	西浦	右岸0.25	6300	0	0	L	なし	無し
2	浮島		右岸11.00	2000	800	800	S	S	有り
3	古渡		右岸21.25	13150	0	0	LH	なし	無し
4	鳩崎・余郷入		右岸24.75・25.00	5450・3100	0	0	LSH・LS	なし	無し
5	石田		中岸4.25	1150	98	0	L	なし	無し
6	根田		中岸11.50	17250	14280	4000	L	L	有り
7	石川		中岸35.00	-	-	-	-	-	-
8	永山		左岸0.50	11400	3050	750	S	S	有り
9	麻生		左岸2.00	12600	8500	4000	LS	LS	有り
10	荒宿		左岸14.00	3900	150	0	S	なし	無し
11	大船渡	北浦	左岸0.75	13700	450	50	L	L	有り
12	爪木		左岸3.50	1805	696	150	S	S	有り
13	中		左岸9.50	5	0	0	なし	なし	無し
14	武井		左岸14.50	20	20	50	S	S	有り
15	札		左岸18.00	36	0	0	なし	なし	無し
16	井の埜		左岸20.50	55	0	0	S	なし	無し
17	梶山		左岸22.00	600	103	64	L	L	有り
18	大島	北利根川	右岸8.00	30	36	36	H	H	有り
19	三島		右岸8.25	0	30	32	S	S	有り
20	十番		左岸0.75	190	0	0	L	なし	無し
21	あやめ		左岸3.75	42	0	0	L	なし	無し
22	芝宿		左岸5.25	700	0	0	L	なし	無し
23	横須賀	左岸5.50	64	38	20	S	なし	有り	
24	根三田	鱒川	左岸2.25	1000	0	0	L?	なし	無し
25	川迎		左岸4.75	900	0	0	L	なし	無し
26	附洲新田	外浪逆浦	右岸1.00	445	132	132	L	L	有り
27	一本松		左岸0.75	825	0	0	なし	なし	無し
28	福島		左岸4.75	900	0	0	L?	なし	無し
29	小見川	常陸利根川	右岸9.25	240	0	0	なし	なし	無し
30	真崎		左岸9.00	165	0	0	なし	なし	無し
31	息栖		左岸9.75	70	11	2	なし	なし	有り
32	門脇		左岸10.00	15	0	0	なし	なし	無し
33	息栖西		左岸10.50	60	10	6	なし	なし	有り
34	賀村		左岸11.75	2320	0	0	なし	なし	無し

L:長花柱型(メシベがオシベより長いタイプ)  
 S:短花柱型(メシベがオシベより短いタイプ)  
 H:ホモ型(メシベとオシベが同じ長さのタイプ)

※鳩崎及び余郷入地区は隣接しているので、No.4 にまとめて計上した。

※表は下記出典より作成

出典:「霞ヶ浦におけるアサザ固体群の衰退と種子による繁殖の現状」、応用生態工学 4(1)、39-48、2001、  
 西廣淳、川口浩範、飯島博、藤原宣夫、鷲谷いづみ

### 3.2. 緊急保全対策地区の選定

34 の候補地区から選定条件等により、緊急保全対策地区として 11 地区を選定した。

#### (1) 選定条件による絞り込み

候補地 34 地区(表 3.2-2)から、下記の選定条件により 18 地区へ絞り込みを行った。

##### 〈選定条件〉

- 1) 現在アサザが生育している地区
- 2) 現在はアサザの生育が確認されていないが、比較的波浪が小さく、湖棚が広いなどの生育条件が整っている地区のうち、過去アサザが生育していた地区及び過去に生産された種子の発芽・定着が期待できる地区

- 18 地区
- 西 浦 9 地区：近年アサザが確認された地区 (注1)
  - 北 浦 3 地区：近年大規模なアサザ群落が確認された地区
  - 河道部 6 地区：アサザを船舶の航行により発生する走行波から守る地区

(注1) 西浦において、選定条件をもとに緊急保全対策地区を選定すると 10 地区となるが、浮島地区 (No.2) は現在のアサザの生育状況、保全環境が良好なため、緊急保全対策は行わず、モニタリング調査を実施することとした。

#### (2) 緊急保全対策地区の選定

これらの緊急保全対策 18 地区のうち、河道部 6 地区は、その後のモニタリング調査結果より、継続的にモニタリング調査を実施し、監視しつつ管理することとした。

##### ■河道部 (6 地区) のモニタリング調査結果

- ・アサザ植生がヨシ帯などに囲まれている
- ・モニタリング調査結果では、生育状況が維持されている

また、残る 12 地区のうち、西浦の荒宿地区は別途波浪対策で実施したため、**最終的に「緊急保全対策地区として 11 地区」を選定**した。図 3.2-1 に、各地区の位置を示す。

#### (3) 選定した緊急保全対策地区 (11 地区)

緊急保全対策地区として選定した 11 地区の目的 (保全・再生) は、表 3.2-1 のとおりである。

表3.2-1 目的と地区名

目的	地区名
保全	古渡 (下流)、石田、根田 (下流)、麻生、爪木、梶山
再生	鳩崎・余郷入、古渡 (上流)、境島、根田 (上流)、石川、永山、大船津

3. 緊急保全対策地区の選定  
3.2. 緊急保全対策地区の選定

表 3.2-2 緊急保全対策整備地区の選定一覧

地区No. 及び 地区名	河川	位置 [km]	アサザ生育状況 (占有面積[m <sup>2</sup> ]) 2000年	緊急保全対策整備地区の選定条件	
				整備地区	選定条件
1 境島	西	右岸 0.25	0	●	・1990年代に大きなアサザ群落が見られた地区 ・湖棚が広いなど生育環境が整っている
2 浮島		右岸11.00	800		(モニタリング) ・現存するアサザ群落の規模が大きい地区 ・和田岬により守られ、波浪の影響が小さい
3 古渡		右岸21.25	0	●	・1990年代には最も大きいアサザ群落の一つであり、 現在でも多くの実生が見られる地区 ・波浪の影響が小さい
4 鳩崎 ・余郷入		右岸24.75 ・25.00	0	●	・1990年代には大きなアサザ群落が見られ、現在でも 多くの実生が見られる地区 ・波浪の影響が小さい
5 石田		中岸 4.25	0	●	・1990年代のアサザ群落の規模は小さかったが、1990 年までアサザが生育していた地区 ・波浪の影響が小さい
6 根田		中岸11.50	4000	●	・現存するアサザ群落の規模が最大級で、1990年代に おいても最も大きい群落が見られた地区の一つ ・湖棚が広い
7 石川		中岸35.00	—	●	・1990年代のアサザ群落の規模は小さかったが、アサ ザ等のシードバンクが期待できる地区 ・波浪の影響が小さい
8 永山		左岸 0.50	750	●	・現存するアサザ群落の規模が大きい
9 麻生		左岸 2.00	4000	●	(波浪対策およびアサザの保全)
10 荒宿		左岸14.00	0		別途波浪対 策で実施 (波浪対策の検討)
11 大船津	北	左岸 0.75	50	●	・現存するアサザ群落の規模は小さいが、1990年代で はアサザ群落の規模が最も大きい地区の一つ ・湖棚の狭い北浦の中にあって、比較的湖棚が広い
12 爪木		左岸 3.50	150	●	・アサザ群落現存地区
13 中		左岸 9.50	0		
14 武井		左岸14.50	50		(漁港により守られている)
15 札		左岸18.00	0		
16 井の埦		左岸20.50	0		
17 梶山		左岸22.00	64	●	・アサザ群落現存地区
18 大島	利 根 川	右岸 8.00	36	モニタリング	
19 三島		右岸 8.25	32	モニタリング	
20 十番		左岸 0.75	0		
21 あやめ		左岸 3.75	0		
22 芝宿		左岸 5.25	0		
23 横須賀		左岸 5.50	20	モニタリング	
24 根三田	鱈 川	左岸 2.25	0		
25 川迎		左岸 4.75	0		
26 附洲新田	逆外 浦浪	右岸 1.00	132	モニタリング	
27 一本松		左岸 0.75	0		
28 福島		左岸 4.75	0		
29 小見川	常 陸 川	右岸 9.25	0		
30 真崎		左岸 9.00	0		
31 息栖		左岸 9.75	2	モニタリング	
32 門脇		左岸10.00	0		
33 息栖西		左岸10.50	6	モニタリング	
34 賀村		左岸11.75	0		

● : 整備実施地区

出典：「第2回 霞ヶ浦湖岸植生帯の緊急保全対策評価検討会」資料5-1 (P2)  
※鳩崎及び余郷入地区は隣接しているので、No.4 にまとめて計上した。

- 3. 緊急保全対策地区の選定
- 3.2. 緊急保全対策地区の選定



図 3.2-1 緊急保全対策整備地区およびアサザ観測地区の位置

出典：「第2回 霞ヶ浦湖岸植生帯の緊急保全対策評価検討会」資料 5-1 (P11) より作成